

山林事業

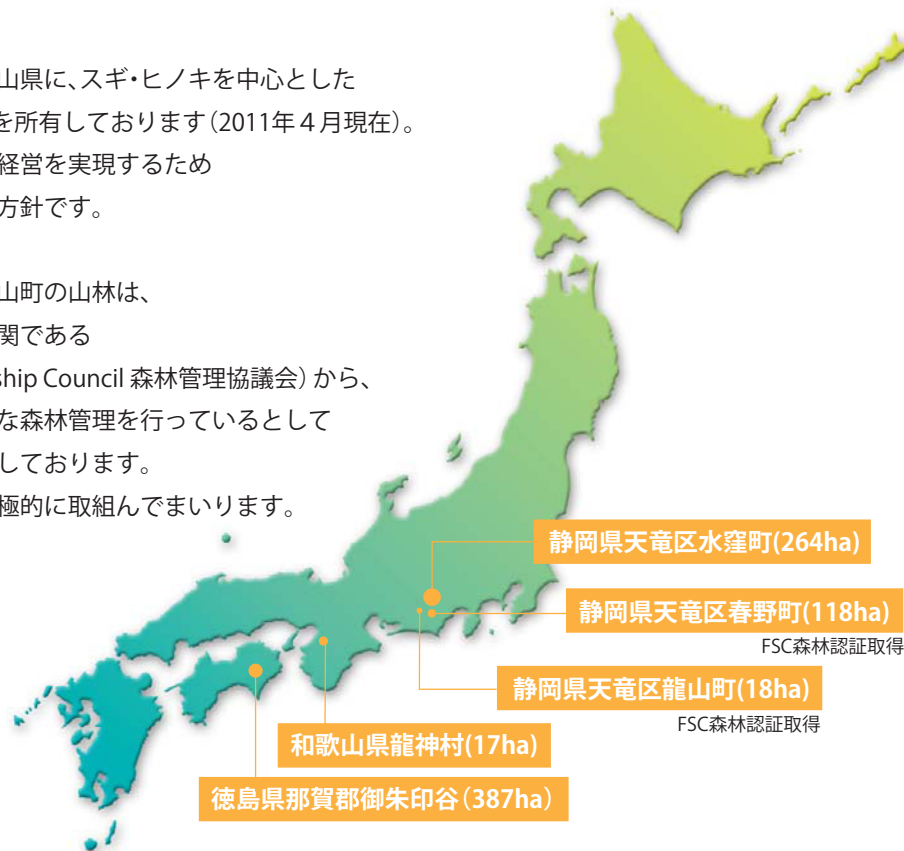
日本は国土の3分の2が森林で覆われている世界有数の森林国です。
森林の機能として、近年では地球温暖化ガスの吸収貯蓄機能に
注目が集まっておりますが、再生可能な資源としての側面も忘れることはできません。
私たち江間忠グループは持続可能な
循環型森林経営を目指し、山林事業に取り組んでまいります。

江間忠社有林

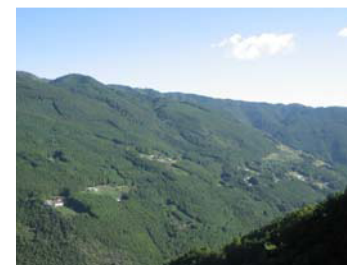
静岡県、徳島県、和歌山県に、スギ・ヒノキを中心とした
総面積804haの山林を所有しております(2011年4月現在)。

今後も安定的な山林経営を実現するため
山林を拡充して行く方針です。

静岡県の春野町や龍山町の山林は、
世界的な森林認証機関である
FSC (Forest Stewardship Council 森林管理協議会) から、
環境に配慮した適正な森林管理を行っているとして
森林管理認証を取得しております。
こうした認証にも積極的に取り組んでまいります。



森林は地球環境や生物の多様性を保全する他、
水源の涵養機能など、多面的な機能を持っています。
こうした森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるために、
森林の成長や状況に応じた施業を行い、
適正な森林管理をしております。



江間忠グループでは、適正な森林管理による原木の生産から
プレカット加工、集成材の製造等に至るまで、
一貫体制で木材の高度利用を実現することで、
森林の保全と事業活動を両立させ、
100年先の未来へ美しい森林を残すことを目指しています。



2011年2月に静岡県春野町山林で江間忠グループ初の
利用間伐を行いました。伐採された木材は
グループ会社のプレカット材料として活用しております。